

新技術データベース『NETIS』の登録から事後評価までの流れ

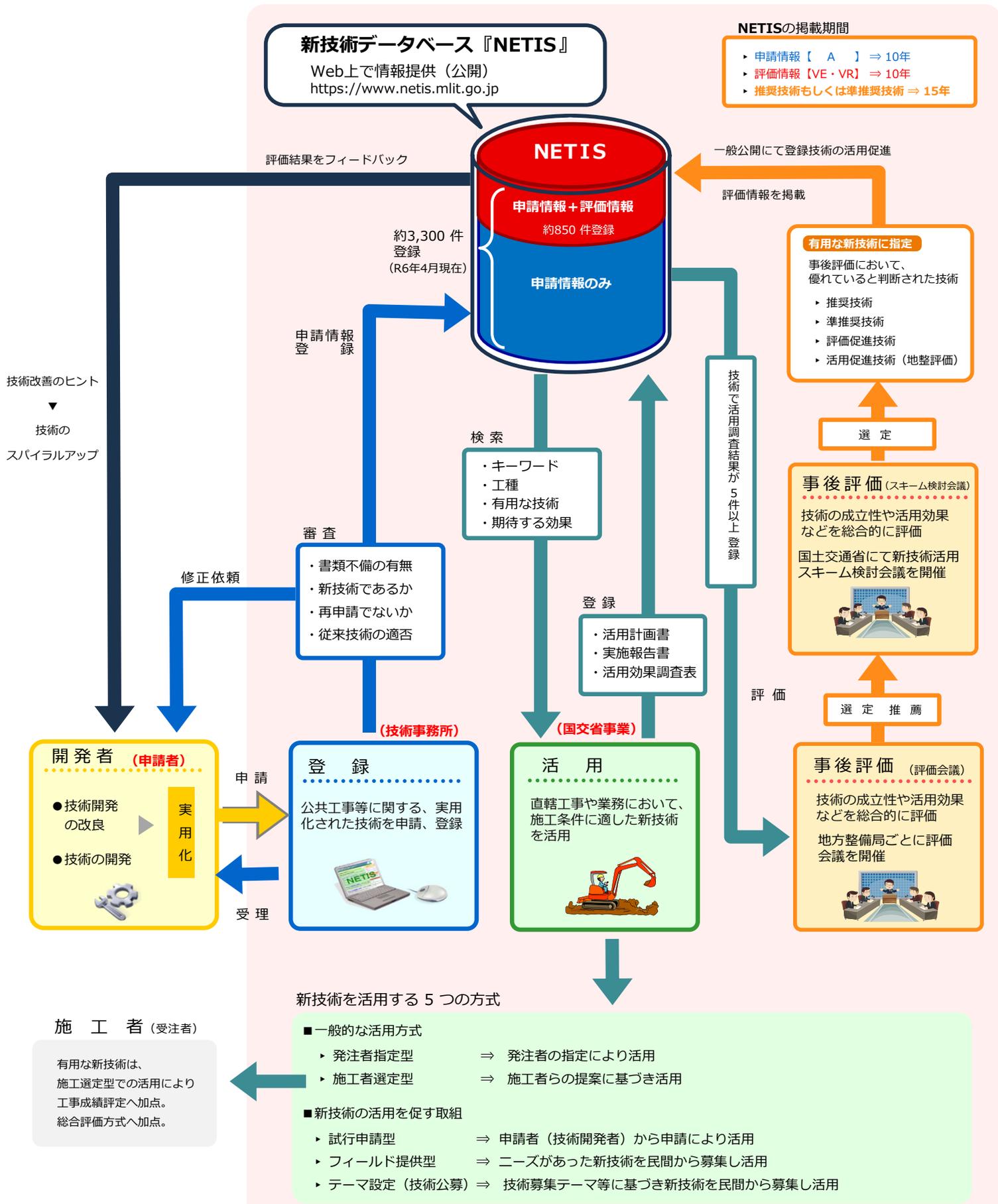
新技術の開発者が技術を申請し受理されると、申請情報がNETISに登録されます。

また、直轄工事で活用できるとその導入効果を活用効果調査表等によりNETISに登録します。

活用効果調査表が5件以上登録されると、評価会議において事後評価が行われ、評価結果はNETISで公表されます。

公共工事等における新技術活用スキーム

民間事業者等により開発された有用な新技術を公共工事等において積極的に活用・評価し、技術開発を促進していくためのスキーム
(平成13年度より運用)



NETIS掲載技術は、登録番号によって管理されています。
どの地域でどの時期に登録された技術なのか、その技術がどの状況なのか表示されています。
番号末尾のアルファベットは、登録当初は全て「A」であり、活用した実績により事後評価を行い、その結果によって「VR」「VE」となります。

QS - 24 0001 - A

登録地整
の記号

登録年度
(西暦)

年度毎の
登録番号

情報種別
記号

HK : 北海道 HOKKAIDOU
TH : 東北
HR : 北陸
KT : 関東
CB : 中部
KK : 近畿
CG : 中国
SK : 四国
QS : 九州 QYUSHU
OK : 沖縄

A : 未評価の技術（評価情報が未掲載の技術）
VR : 評価の結果、継続調査等の対象とする技術
VE : 評価の結果、継続調査等の対象としない技術

3桁目に「K」がついているものは、
「港湾NETIS」の登録技術 例：QSK、KTK

Aは、Application（申請）
VRは、Value Re（再評価）
VEは、Value End（評価終了）

NETISの掲載情報（申請情報・評価情報）

NETISは、申請情報と評価情報から構成されています。

「申請情報」に記載されている内容は、技術の名称、概要、特徴、用途、実績、活用の効果など、NETISの申請者が登録申請書類に記載した情報です。

末尾のアルファベット（A）の技術は、申請情報のみが掲載されています。

「評価情報」は、評価会議で審議した事前審査や、実際に現場で活用した結果を元にした事後評価の結果が掲載されています。

末尾のアルファベット（VR・VE）の技術は、申請情報に加え評価情報が掲載されています。

申請情報

新技術

新技術概要説明情報 2021.10.27 現在

NETIS登録番号	
技術名称	
事後評価	事後評価未実施技術
受賞等	建設技術審査証明*
事前審査・事後評価	事前審査 活用効果評価
技術の位置付け (有用な新技術)	開発技術 普及技術 評価促進技術 活用促進技術
旧実施要領における 技術の位置付け	活用促進技術(旧) 設計比較対象技術 歩実編成良技術
活用効果調査入力様式	-A 活用効果調査が必要です。
適用期間等	

*記号の情報は以下の情報は申請者の申請に基づき掲載しております。申請情報の最終更新年月日：2021/10/08

評価情報

活用効果評価結果

公開済 新技術活用評価会議

開発目標			
NETIS登録番号	区分	有用な技術の位置づけ	
分類			
新技術名			
比較する従来技術 (従来工法)			
新技術の概要 及び特徴			
用途	【使っていた所】		
活用効果評価	【使っていた所】		
留意事項			
活用効果調査表に おける留意点及び 留意			

項目の平均(高)と従来技術(従来工法)(高)の比較

経済性
安全性
信頼性
施工性
品質・出来形

従来技術(従来工法)
新技術

NETISの掲載期間

NETISへの掲載期限は、当初に登録した日の翌年度の4月1日から起算して10年を経過した日までとなります。

「推奨技術」「準推奨技術」に選定された場合の掲載期限は、当初に登録した日の翌年度の4月1日から起算して15年を経過した日までとなります。



新技術の活用の型について

直轄工事においてNETIS技術を活用する場合、**5つの活用型式**から選択しており（P4参照）、九州では『**発注者指定型**』と『**施工者選定型**』が多く活用されています。

活用形式は活用計画書の作成の際に、「活用等の型」を選択します。
発注者指定型、施工者選定型にもそれぞれ選択がありますので作成の際はご注意ください。

発注者指定型 発注者が個別にNETIS技術を指定し活用

発注者指定型（選択技提示型） 発注者が対象とするテーマと複数のNETIS技術を提示し、契約後に施工者がNETIS技術を選択し活用

施工者選定型（契約後提案） 施工者が対象とNETIS技術を原則1つ以上選定して活用

施工者選定型（総合評価技術提案） 総合評価落札方式における技術提案に基づき、施工者がNETIS技術を活用

発注者指定型

現場ニーズなどにより、必要となる新技術を設計段階で検討し、**発注者が指定して**活用するタイプ

【活用例】 施工の主体となる技術が多く活用されています。

- ・地盤改良工
- ・ボックスカルバート工
- ・グラウンドアンカー工
- ・河川護岸工
- ・橋梁耐震補強工
- ・機械設備
- ・橋梁補修補強工 など

施工者選定型

施工者（受注者）からの提案に基づき工事内容に適した新技術を選定して活用するタイプ

【活用例】

- ・UAV等による3次元測量
- ・仮設ハウス
- ・仮設トイレ
- ・情報共有システム
- ・ICT建設機械
- ・安全灯、照明灯
- ・工事看板
- ・コンクリートの品質向上技術 など

新技術活用における期待される効果

公共工事等に関する優れた技術は、良質な社会資本整備の促進に寄与します。

新技術の活用によって、発注者、施工者、開発者に以下の効果が期待されます。

発注者

- コスト縮減を踏まえた工事発注、調査設計業務発注
- 事業のスピードアップ
- 適切な品質確保
- 維持管理の効率化

施工者

- 工事効率化等による工期短縮
- 適切な管理による品質確保
- 省エネルギー、省資源化
- 総合評価方式、工事成績評定の加点対象

開発者

- 開発技術の活用・評価
- 工事における活用機会増加
- 技術開発のスパイラルアップ

活用効果調査表等の作成について

NETIS掲載された技術を直轄工事で活用した際は、従来技術に対する導入効果を確認するための調査を行います。

調査内容は、「新技術活用計画書」「実施報告書」「活用効果調査表」があり、NETISから作成・登録が必要です。

NETISの末尾の記号（A・VR・VE）によって、調査内容が異なります。

実施報告書、活用効果調査表は、A・VRの技術が対象です。

新技術(活用前) (A・VR・VE)

■ 活用計画書

新技術の活用前に、新技術を活用する期間や活用理由などを記載。

新技術(活用後) (A・VR)

■ 実施報告書

新技術の活用後に使用した際の数量や施工の概要を記載。（図面等を添付）

■ 活用効果調査表

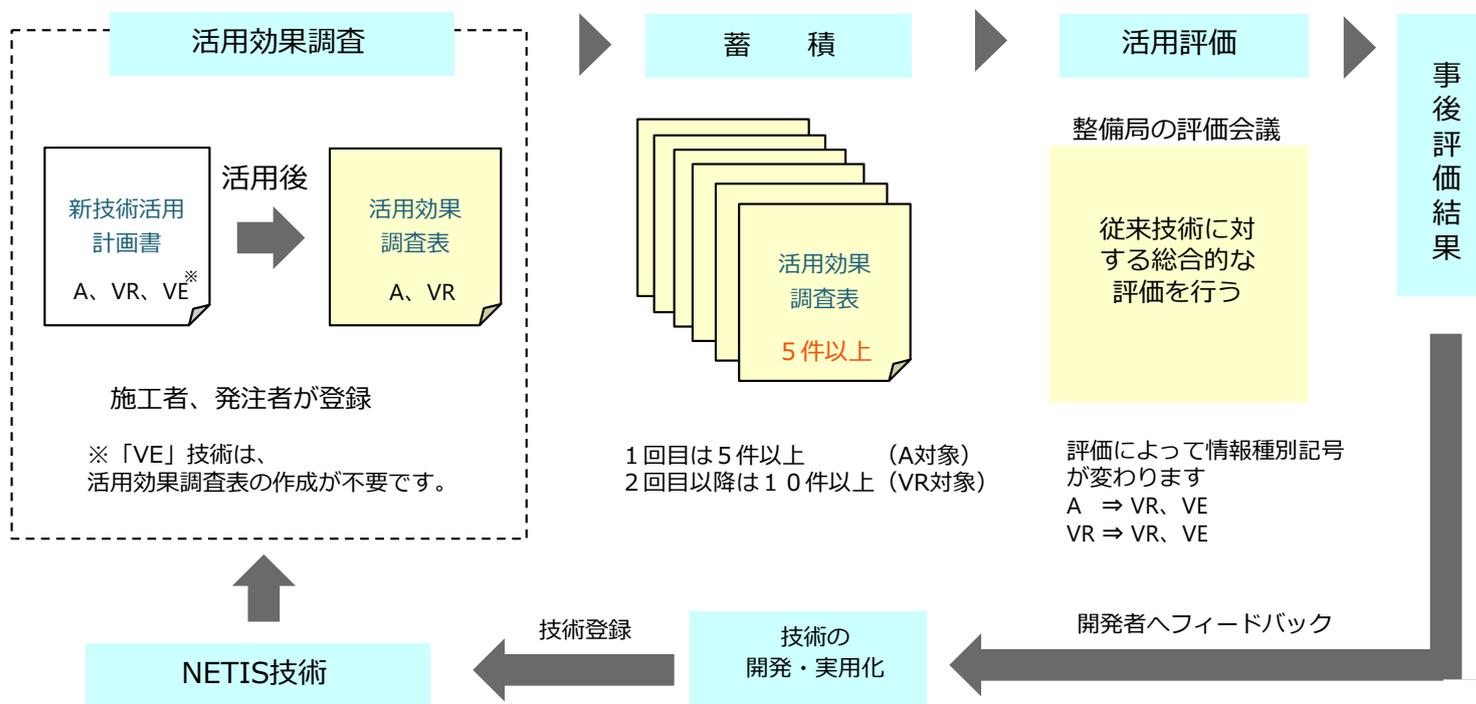
現場での新技術の効果に関して、申請情報の従来技術に対する優位性を記載。

活用効果調査と事後評価

新技術の活用時には、活用効果調査を行います。

活用効果調査表が5件以上蓄積したら、大学、産業界、研究機関、行政からなる新技術活用評価会議で技術特性などが評価されます。

事後評価の流れ（発注者指定型、施工者選定型）



有用な新技術

事後評価において、従来技術と比べて優れていると判断された新技術は、有用な新技術として選定されます。

申請情報 3,503件

評価

新技術活用評価会議（地方整備局）

評価情報 708件

選定

活用促進技術 243件

- ・総合的に活用の効果が優れている技術
- ・特定の性能又は機能が特に優れている技術
- ・特定の地域のみで普及しており、全国に普及することが有益と判断される技術
- ・その他評価会議が選考し指定する技術

※平成26年4月1日より、従来の「活用促進技術」「設計比較対象技術」「少実績優良技術」を「活用促進技術」に統合

推薦

新技術活用スキーム検討会議（全国）

準推奨技術 21件

- ・推奨技術と位置づけるためには更なる発展を期待する部分がある新技術

推奨技術 6件

- ・公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された画期的な新技術

(R6年5月現在)

NETIS 検索方法について

インターネットを通じてNETISにアクセスすると、以下のトップ画面が表示されます。検索方法は、キーワード検索、工種、有用な技術、効果などを選択が可能です。NETISの登録情報は随時更新されており、変更や掲載中止になる技術もありますので、工事等で使用申請をする前に、最新の登録情報を確認してください。

【NETIS TOPページ】

The screenshot shows the NETIS homepage with a navigation bar and a search section. The search section is divided into four numbered steps:

- 1 技術を探す**: Search keywords. Includes a text input field for '検索キーワード' and a dropdown for '工種別頻出キーワード一覧'. A button 'この条件で検索' is highlighted.
- 2 工種**: Select industry categories. Includes dropdown menus for '工種' and '工種分類一覧'. A button 'この条件で検索' is highlighted.
- 3 有用な新技術の選択**: Select useful technologies. Includes checkboxes for '推奨技術', '準推奨技術', '評価促進技術', and '活用促進技術'. A button 'この条件で検索' is highlighted.
- 4 新技術に期待する効果で更に絞り込む**: Refine by expected effects. Includes checkboxes for '経済性の向上', '工程の短縮', '品質の向上', '安全性の向上', '施工性の向上', and '周辺環境への影響抑制'. A button 'この条件で検索' is highlighted.

Additional elements include a 'マニュアル/FAQ' button in the top right, a 'What's NEW' section with recent updates, and a 'NETISとは' section. A large callout box on the right states: **①～④の条件を入力・選択したら、最後にクリック。**

① 検索技術名称・NETIS登録番号を入力し「この条件で検索」をクリックすると検索できます。
また、アルファベットは大小文字検索可能です。
末尾にある「情報種別記号」を除いた記号番号を入力してください。

② レベル1から4までに分類された工種を絞り込むことができます。

③ チェックを入れて検索すると、有用な技術を絞り込むことができます。

④ 経済性、工程、品質、安全性、施工性、周辺環境のうち期待する効果で絞り込むことができます。

NETISの検索(キーワード)

キーワード入力による検索！

NETISの登録番号や、NETISの製品名等がわかっている場合は、検索キーワードを入力してください。

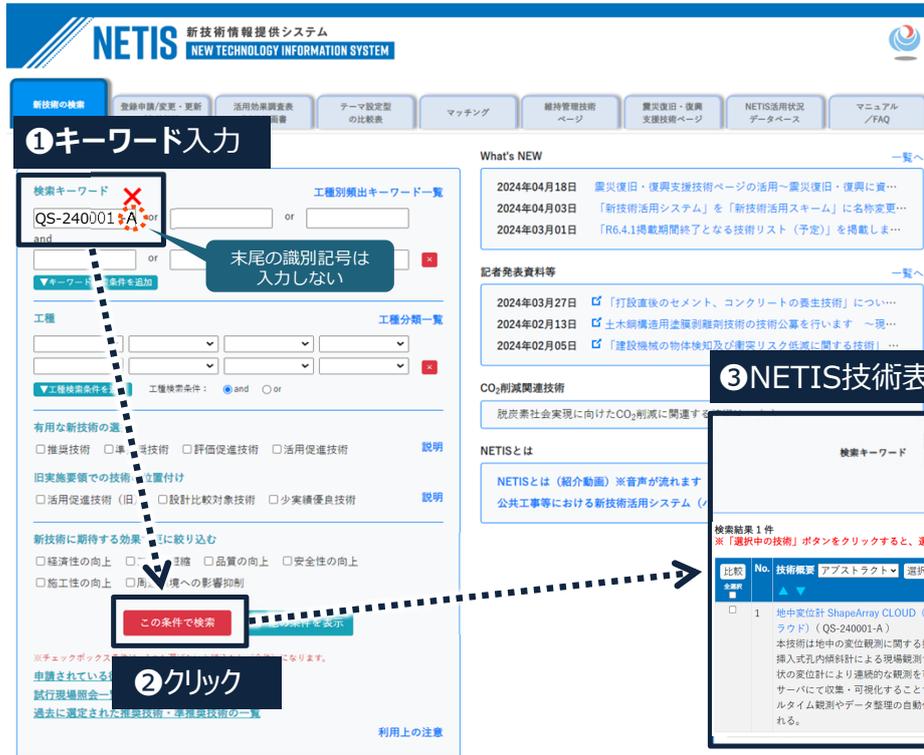
① 検索技術名称・NETIS登録番号のキーワードを入力

※NETIS番号で検索する場合、末尾の識別記号「-A」は、「VR」や「VE」に変更する場合がありますので入力はしません。

② 「この条件で検索」をクリック

※【キーワード検索条件を追加】で対象の両単語とも含まれる技術を検索できます。

③ 該当する技術が表示される



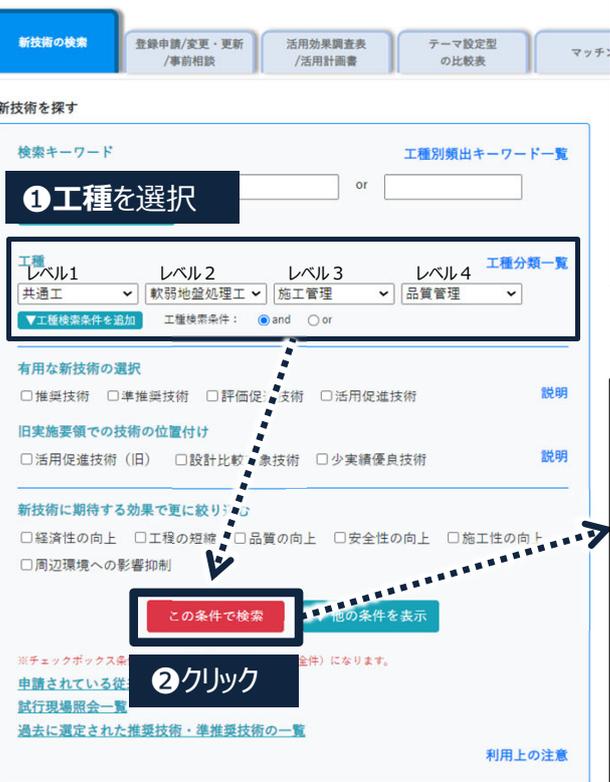
③ NETIS技術表示

比較	No.	技術概要	アブストラクト	選択	写真	登録年度	最終評価年月日	技術の位置付け	活用効果調査(件数)	活用効果評価
	1	地中実位計 ShapeArray CLOUD (シェイプアレイクラウド) (QS-240001-A)				2024 (R06)				

NETISの検索(工種)

工種で絞り込む！

レベル4までの工種に分類されているので、絞り込むことができます。



工種 (レベル1) :

土工、共通工、基礎工、仮設工、コンクリート工、河川海岸、河川維持、砂防工、舗装工、付属施設、道路維持修繕工、共同溝工、トンネル工、橋梁上部工、公園、ダム、シールド、推進工、上下水道工、機械設備、建築、建築設備(電気)、建築設備(機械)、環境対策工、調査試験、ITS関連技術、電気通信設備、港湾・港湾海岸・空港、空港土木、空港舗装工、柵工、撤去工、その他

③ NETIS技術表示

No.	技術概要	アブストラクト	選択	写真	登録年度	最終評価年月日	技術の位置付け	活用効果調査(件数)	活用効果評価
1	大深度先端位置計測システム (KT-230278-A)	本技術は相対掘削式深層混合処理工法(DCS工法)を対象に施工中リアルタイムに掘削機の先端位置を計測し可視化するシステムである。本技術の活用により孔曲がり等が早い段階で修正できる。また、先端位置を所定の位置に精度良く誘導することによって品質の向上が図れる。			2023 (R05)				
2	盛土併用真空圧密工法の自動監視システム (HK-200012-A)	本技術は、軟弱地盤上の盛土の安定管理を行う技術で、従来は変位杭と沈下板を人力による測量で計測管理していた。本技術の活用により自動追尾型計測による省人化が図られ、1日の測定回数が増えることにより盛土安定管理の精度が向上する。			2020 (R02)				
3	杭打太郎 (KK-190022-A)	本技術はデジタルカメラ搭載型トータルステーションとモニタ画面による杭の打設位置、軸直度、打設深さを誘導するシステム技術であり、従来はトランシットによる杭打設管理を行っていた。本技術の活用により、経済性、施工性の向上が期待できる。			2019 (R01)			1件	

NETISの検索(有用な新技術)

有用な新技術を選択!

活用の効果の高い「有用な新技術」を検索することができます。

(令和6年5月現在)

①有用な技術を選択

有用な新技術の選択

推奨技術 準推奨技術 評価促進技術 活用促進技術

旧実施要領での技術の位置付け

活用促進技術(旧) 設計・施工対象技術 少実績優良技術

新技術に期待する効果で更に絞り込む

経済性の向上 工程の短縮 品質の向上 安全性の向上

施工性の向上 周辺環境への影響抑制

この条件で検索 他の条件を表示

※チェックボックス申請されている従来技術名、試行現場照会一覧

②クリック

過去に選定された推奨技術・準推奨技術の一覧

利用上の注意

What's NEW

- 2024年04月18日 震災復旧・復興支援技術ページの活用～震災復旧・復興支援技術ページ
- 2024年04月03日 「新技術活用システム」を「新技術活用スキーム」に
- 2024年03月01日 「R6.4.1掲載期間終了となる技術リスト(予定)」を掲載

③NETIS技術表示

比較	No.	技術概要	アブストラクト	選択	写真	登録年度	最終評価年月日	技術の位置付け	活用効果調査(件数)
<input type="checkbox"/>	1	ハクオール (KT-220019-VE)	本技術は撥水性を高めたコンクリート型枠用剥離剤である。従来は鉱物油を主成分とした剥離剤であった。本技術の活用により、気泡が原因の補修工程を削減し、緻密で高品質な色ムラのないコンクリートとなる。撥水効果で離型性とノロ付着の低減効果に優れ作業性も向上する。			2022 (R04)	2023/09/25 (R05/09/25)	★活用促進	33件
<input type="checkbox"/>	2	塗布量管理革命「シールdeチェッカー」(SK-210002-VE)	コンクリート構造物の表面に貼り付けて、コンクリート表面含浸材が規定塗布量以上に塗布又は散布されているかを確認するための塗布量確認シールである。従来のマット式確認法は3工程が必要であったが、本技術は変色確認の1工程で済み、経済性の向上や工程の短縮が図れる。			2021 (R03)	2024/02/19 (R06/02/19)	★活用促進	9件
<input type="checkbox"/>	3	中圧噴射機械攪拌工法(MITS工法CMS-ICTシステム)(QS-210009-VE)	本技術は、深層混合処理(スラリー攪拌工)に関する技術である。ICT対応バックホウタイプの地盤改良機			2021 (R03)	2023/09/25 (R05/09/25)	★活用促進	8件

NETISの検索(期待する効果)

新技術に期待する効果で絞り込む!

経済性、工程、品質、安全性、施工性、周辺環境のうち期待する効果で絞り込むことができます。

①工種を選択

工種

道路維持修繕工

有用な新技術の選択

推奨技術 準推奨技術 評価促進技術 活用促進技術

旧実施要領での技術の位置付け

活用促進技術(旧)

新技術に期待する効果で更に絞り込む

経済性の向上 工程の短縮 品質の向上 安全性の向上 施工性の向上

周辺環境への影響抑制

この条件で検索 他の条件を表示

※チェックボックス申請されている従来技術名、試行現場照会一覧

②期待する効果を選択

過去に選定された推奨技術・準推奨技術の一覧

利用上の注意

What's NEW

- 2024年04月18日 震災復旧・復興支援技術ページの活用～震災復旧・復興支援技術ページ
- 2024年04月03日 「新技術活用システム」を「新技術活用スキーム」に
- 2024年03月01日 「R6.4.1掲載期間終了となる技術リスト(予定)」を掲載

④NETIS技術表示

比較	No.	技術概要	アブストラクト	選択	写真	登録年度	最終評価年月日	技術の位置付け	活用効果調査(件数)
<input type="checkbox"/>	1	防草樹液連動移動付システム (KT-240016-A)	本技術は、緑石、目地、法面目地に活用できる、防草樹液(ウレタン樹脂、ポリウレタン樹脂)と連動移動付装置を用いた防草対策である。従来は防草目地材で対応していた。本技術の活用により、防草樹脂の使用で高い耐久性が期待でき、施工時間が短縮し施工性の向上が図れる。			2024 (R06)			
<input type="checkbox"/>	2	コククリ欠損部補修066 (KT-240012-A)	本技術は、コンクリート欠損部に用いる密着成分を樹脂粒子に改良した高性能樹脂樹脂防錆補修・補強剤で、従来は、ポリマーセメントモルタル等で対応していた。本技術の活用により、被塗面との付着性が向上し、防錆処理等の前処理が不要となるため、工程の短縮が図れる。			2024 (R06)			
<input type="checkbox"/>	3	STEEL-C.A.P.工法 (KK-240002-A)	橋梁上部工の老朽RC床版の取替えにおいて、従来のプレキャストP.C床版による床版取替技術に対し、鋼床版を用いた本技術により、急速取替が可能で弾性			2024 (R06)			

(例) 道路維持工事で工期短縮できる新技術があるかを検索する場合



工種で道路維持修繕工を選択しさらに工程の短縮に☑を入れて検索する。

NETIS 検索方法 (掲載期間終了技術)

NETIS掲載期限を迎えた技術は、NETISホームページに「掲載期間終了技術」のリストが掲載されます。

NETIS 新技術情報提供システム
NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM

新技術を探す

検索キーワード or or
▼キーワード検索条件を追加

工種 or
▼工種検索条件を追加

What's NEW

- 2024年04月18日 震災復旧・復興支援技術ページの活用～震災復旧・復興に…
- 2024年04月03日 「新技術活用システム」を「新技術活用スキーム」に名称…
- 2024年03月01日 「R6.4.1掲載期間終了となる技術リスト (予定)」を掲載し…

NETIS掲載期間終了技術リスト

番号	NETIS掲載技術名称	NETIS番号	業種	分類	技術提供主体 (技術提供先)	技術の種別 (技術の位置付け)	※ 技術提供先	NETIS掲載期間終了日
1	グリスバル	GS-00071	建設業	建設業	インフラ株式会社	本邦産		H14.3.31
2	建設現場用	KT-00038	建設業	建設業	建設業	本邦産		H14.3.31
3	ダクトシステム	HR-00023	建設業	建設業	太平洋セメント株式会社	本邦産		H14.3.31
4	ファイバーコンクリート (管型)	GS-00063	建設業	建設業	前住建設株式会社	本邦産		H14.3.31
5	基礎掘削土壌改良用圧入工法	CB-00034	建設業	建設業	株式会社洋野建設	本邦産		H14.3.31
6	ハイブリッドFRP	CB-00092	建設業	その他	フジニシ工業株式会社	本邦産		H14.3.31
7	シナクレン工法	CB-00069	建設業	建設業	日本橋建設株式会社	本邦産		H14.3.31
8	プラッシュアップ塗布工法	KK-00026	建設業	建設業	清和産業株式会社	本邦産		H14.3.31
9	電気用高圧用絶縁コンクリート	KT-00092	建設業	建設業	日本電気工業株式会社 (H24.3.31の掲載期間終了予定 (H24.3.31))	本邦産		H14.3.31
10	アコフレッド	CB-00070	建設業	建設業	住友建設株式会社	本邦産		H14.3.31
11	鋼筋コンクリート (RC) スラッシュ	CB-00068	建設業	建設業	株式会社 理研技研	本邦産		H14.3.31
12	スリットマツ	KT-00021	建設業	建設業	住友建設株式会社	本邦産		H14.3.31
13	圧入型基礎工法	KT-00030	建設業	建設業	三井建設株式会社	本邦産		H14.3.31
14	圧入型基礎工法	KT-00046	建設業	建設業	大日本建設株式会社	本邦産		H14.3.31
15	鋼管束管 (SPC) (S.スラッシュ)	GS-00018	建設業	建設業	前住建設株式会社	本邦産		H14.3.31

マニュアル/FAQ

NETISの操作マニュアル等については、「マニュアル/FAQ」のページに掲載されています。

NETISトップページ

1 右端のタブをクリック

マニュアル/FAQのページ

2 「NETIS操作マニュアル」へのリンクをクリック

NETIS操作マニュアル

NETIS操作マニュアル

NETIS操作マニュアル